

## 釈迦ヶ岳山行報告

【山行日】 2014年 5月 29(日) 晴れ時々雷雨  
【集 合】 道の駅「しもつけ」 AM 6:00  
【費 用】 マイカー1台 : 1,500円  
【メンバー】 CL:鈴木、大西、渡辺  
【コースタイム】道の駅「しもつけ」6:00＝大間々台 P7:30  
～剣ヶ峰 9:00～釈迦ヶ岳 10:30/10:45～ 八海山神社  
12:20/13:00～大間々台P14:00＝小間々台 14:10/14:30  
＝道の駅「しもつけ」16:30



以前から遠くに見える気になる山があった。「自分の家から見える山に登りたい。」とのリクエストがあり、今回の釈迦ヶ岳山行を計画した。

6名参加申し込みがあったが、直前に家族の病気などでキャンセルとなり3名で出かけた。交通費が掛からないようにと集合場所を道の駅「しもつけ」に変更し、新4号経由で向かった。



小間々台から大間々台の道路は、ヤマツツジがちょうど見ごろでとてもきれいだった。

大間々台の駐車場に着くとすでに10台位車があり、いくつかのグループが登山の準備をしていた。我々もストレッチとトイレを済ませて出発する。天気予報通り青空で、この後天気が急変するなんて夢にも思わず歩いていた。新緑とツツジやスミレの花を楽しみながら歩く登山道は爽快だった。

八海山神社に着き水分補給をし、これから登る釈迦ヶ岳を見ながら会話が弾む。剣ヶ峰までの登山道はシロヤシオがちらほら見られるが、木は小さくて花の付が良くない。剣ヶ峰分岐で釈迦ヶ岳から降りてきた人と出会い、花の様子を聞くと「赤も白も咲いていますよ。」との事だがほとんど見当たらない。釈迦ヶ岳や明神岳の上に黒い雲がかかっているが、今日の天気予報は関東南部は雷雨があるが関東北部は寒気の影響は受けないとので、雨は降らないと信じていた。

ところが剣ヶ峰から下って鞍部まで来たところで急に降り出した。西の空は晴れているのですぐに止むと思い「レインウエアーの上衣だけ着よう。」と上衣だけ着けた。雨がヒョウに変わり激しくなったので、樹林帯で雨宿りをして待つが、足元が白くなってゆく。10分くらいで小降りになり、歩き始めると晴れてきた。鞍部まで夫婦の方が後をついてきたがヒョウで諦めたようだ。登山道の樹木は芽吹き始めたばかりでシロヤシオの花はまだ10日位先になりそうだ。トラロープが下る急な斜面を登って行くが、雨で濡れた斜面は滑りやすく難儀した。



最後の急斜面を登りきるとゆるやかな登山道となり、少し進むと広い山頂に出る。

山頂には祠と一等三角点があり、東に数メートル進むと立派な釈迦如来像が安置されている。

360度のパノラマを楽しみながら背負ってきた果物や菓子を戴き至福のひと時を過ごした。

しかし西平岳を見ると何やら怪しい雲が…。急いで下山の支度をして出発する。いくらなんでももう



降らないだろうと思っていたら、剣ヶ峰への鞍部でまた降り出す。さっきよりも大粒のヒョウなのでレインウアーの上下を着て帽子もかぶり完全武装。パチンコの玉より大きいヒョウが頭に容赦なく当り痛かった。逃げるように歩き剣ヶ峰まで来ると小降りになったが、昼食はこの先の八海山神社で摂ることにする。八海山神社までの登山道で懐かしい人たちと会った。以前の会で一緒に登っ

た仲間のNさんとTさん。こんなところで再会するなんてと会話が弾んむ。

八海山神社まで来ると雨も止み、焼きそばを焼いてのんびりと昼食タイム。先週登った大山の話や新しく入ってくる人の話で盛り上がった。下山は林間コースを下る。1時間で大間々台Pに着き、小間々台の自然探究路を散策してツツジを楽しみ、山の駅「たかはら」へ寄って帰路についた。

途中さくら市のポピーの花がきれいだとテレビで見たと言うので、矢板市からさくら市へ向かう。河川敷にポピーの花が咲いていたが、テレビや新聞の写真で見たほど綺麗ではない。

でも一応見学して行こうとお花畑まで歩いて行き写真を撮っていたら、大粒の雨が降り出した。

今日3度目の雷雨である。しかも降ったのはさくら市東部だけで、旧氏家町まで来ると道路が乾いていて晴れていた。

雨に3度降られたが、目的の高原山は登頂できたし、ヤマツツジの綺麗な花が見られ満足の山行だった。

